

湘南教組第68回定期大会



開催日：5月17日(水)・18日(木)

両日／16:00開始 (15:30 受付開始)

場所／藤沢市民会館大ホール

4年ぶりに集合開催！！

湘南教組第68回定期大会を成功させよう！

4年ぶりとなる、湘南教組第68回定期大会を成功させ、2023年度運動方針を決定し、力強い前進をめざしましょう。すべての職場・分会の活発な討議を期待します！

定期大会とは、労働組合における最高議決機関です。過去1年間の活動や予算に関する審議と次の1年間の活動方針や予算案などについての議決が行われます。いわば労働組合における『国会』のようなもので、少なくとも年に一度は必ず開催することが法律で定められています。

【部活動地域移行について】

2023年度から3年間を「改革推進期間」とし、地域移行の準備がすすめられます。まずは運動部の地域移行がすすめられる予定ですが、文化系の部活動においても運動部と同様の地域移行が行われると見込まれています。しかし、現状は不透明な点が多く、各自治体共通して、外部指導者不足、活動場所不足、活動資金不足により、地域移行は全くというほど前にすすんではいません。湘南教組としても、この地域移行により、より教員への負担が多くなることだけは絶対に避けなければなりませんし、教員の働き方改革の一つとなるように求めていきます。

【教員未配置問題について】

2010年頃から、団塊世代の大量退職にあわせて教員需要が増加しましたが、各自治体は採用を増やしたものの、欠員をすべて正規教員で補充せず、非正規教員で補ってきました。教員の世代交代がすすんで若手教員が出産期を迎え、35人学級の実施や特別支援級の増加を背景にして、さらに教員需要が増えることから、教員の未配置問題はしばらく続くと考えられます。未配置を解消させるには、教員の正規採用を増やすことが第一の解決策ですが、各自治体は将来の少子化に備え、採用を増やすことに及び腰です。政府はこの教員不足に対して、ようやく動き始めようとしています。また文科省・中央教育審議会がどのような具体策を示すのか注視していく必要があります。湘南教組は引き続き、日教組、神教組に結集し、声をあげていきます。

【憲法改正反対・反戦へのとりくみ】

日本国憲法は、アジアへの侵略と植民地支配という過ち、過去の軍国主義の歴史に対する痛切な反省にもとづき、二度と政府を戦争にむかわせないように制定されました。

私たちは「教え子をふたたび戦場におくるな！」のスローガンのもと、憲法改悪反対の声を粘り強くあげていくとともに、今後も、より多くの組合員と日本国憲法について学び、また、平和フォーラム、平和運動センター等の集会に参加する中で世論喚起をする必要があります。

【給特法について】

文科省が実施中の教員勤務実態調査の速報値が、2023年4月28日に公表され、前回2016年調査と比較して、平日・土日ともに、全ての職種において在校等時間が減少したものの、依然として長時間勤務の教員が多い状況との結果が出ました。今後、給特法（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法）等の見直しに向けて本格的な動きがはじまります。湘南教組としては、給特法を見直すだけでは、長時間勤務の問題が解決するとは考えていません。引き続き、日教組、神教組に現場の声を意見反映していきます。

【組織拡大強化】

教職員の世代交代がすすむ中、2023年度は190名近い新採用、転任採用者を迎えました。組合運動の継承と働きやすい職場づくりをすすめていくためにも、組織の強化拡大は欠かせません。また、学校現場の課題や組合員の困難な状況の改善のためには、組織の人数や結集力が問われます。湘南教組は組織化を最重要課題として、今後も、各分会と連携することはもとより、組合員一人ひとりの立場にたって考え、とりくみをすすめていきます。引き続き、新採用、転任採用、未組合員への組合加入の声かけをお願いします。

【教科書採択】

	2022年	2023年	2024年	2025年
小学校	移行期間 教科書検定	教科書採択	全面実施 使用開始	
中学校	移行期間	教科書検定	教科書採択	全面実施 使用開始

2023年度は、4年に1度の小学校の教科書採択の年度です。

藤沢市では、2011・2015年の中学校の歴史・公民の教科書採択では、現場教員の意向を示す「教科用図書調査書」や「教科用図書審議委員会」で評価が極めて低かった教科書が採択されました。

教科書採択は「教育委員会が採択する」とされていますが、実際に教科書を使って授業をする教職員の意見や、見本本を読んだ地域住民の声などを十分に尊重して採択されるものと考えます。私たちにできることは、5～6月に各校に新しい教科書が巡回されるので、みなさんで教科書を見て、調査書に具体的な意見を記入するようお願いします。

【スケジュール】 5～6月に教科書が各校に巡回後、調査書提出⇒調査員⇒審議会
7～8月に教育委員会で採択

【執行部のつぶやき】

「せんせい！〇〇くん、タイヤとびできたよ！」休み時間が終わろうとしている教室に、たくさんの可愛い1年生たちが駆け込んできた。目をキラキラさせて、顔は紅潮させながら、口々に〇〇くんの快拳を報告してくれた。私も「すごいね！」「がんばったね！」と一緒に喜び合いながらも、自分のこと以上に友だちの「できた！」に喜びを感じる周りの子どもたちの純真さに感動し、うれしくなった。誰かの「できた！」をみんなで喜び合う1年生担任の毎日、心が洗われ素敵な1年となった。その翌年は、6年生担任になった。ピカピカの1年生から、たった5年しか経っていないはずの6年生の教室は、誰より多い、誰より速い…など、周り比べてようやく「できた」と判断しているようだった。周りに気を遣って、「できないこと」ばかりか「できること」も、隠すこともあった。赤ちゃんだった10年前は、ただ笑っただけで、ただ声を出しただけで、寝返りをうっただけで、あんなに周りに喜ばれていたはずなのに、小さな「できた！」では12歳の子ども自身でさえも堂々と喜べないこともあることに気づかされた。



それでも私は、たくさんの小さな「できた！」に寄り添うことができることが、この仕事の醍醐味だと思っている。子どもたちの小さな「できた！」を増やしたいと同僚たちと教具や指導方法、アプローチなど試行錯誤している毎日とても楽しい。そして、子どもたちにとって上手いかなかったら、次はどうしたらいいか、ああだこうだと同僚と話をする。子どもたちの頑張った過程や成果を同僚と一緒に喜ぶ時には、涙がにじむこともあった。悲しいことも、辛いことも、疲れ果てることも多いこの仕事だけれども、毎日学校に出勤できているは、何かができる時のうれしそうで誇らしそうな子どもたちの笑顔に出会えるからだと思う。

欠員の多い、採用試験の受験者数も少ないこの現状で、教員の魅力って何だろうとか、自分自身のこの仕事への思いを問い直すことが増えた気がする。教職を志す学生ボランティアや教育実習生の存在が、自分事のようにありがたく感じるまでになっている。働き続けたいと思うことができる労働環境を守り、学校における自由な教育課程編成などを守ることで、湘南からこの仕事の魅力を発信していけるようになったら…と大きな野望を持ちつつ、私は執行部としての一つひとつの小さな「できた！」を積み重ねることから頑張ろうと思う。

【湘南教組 当面の予定】

日程	予定	開始時刻	場所	対象
5月12日(金)	統一職場集会		各分会	
5月17日(水) 5月18日(木)	第68回定期大会	16:00	藤沢市民会館大ホール	代議員
5月29日(月)	生活委員会	17:30	Web	生活委員
6月1日(木)	教文・教研合同推進委員会	16:15	湘南教育会館	教文委員+ 推進委員
6月7日(水)	藤沢地域協議会	16:15	湘南教育会館	分会長
6月8日(木)	鎌倉地域協議会	16:30	ろうきん大船支店	分会長
	茅ヶ崎・寒川地域協議会	16:15	寒川町民センター	分会長
6月15日(木)	女性部定期大会	16:15	藤沢市民会館小ホール	女性部 代議員

より詳しい湘南教組の情報をうけとりたい方は、こちらからメルマガのご登録をお願いします。

サービスに関わること、学習会の開催情報、その他にも組合員のためになる情報を定期的に発信していきます！

